

センチネルリンパ節ナビゲーション手術を導入しました

東京医療センター産婦人科では、婦人科がんの手術において**センチネルリンパ節生検(Sentinel Lymph Node Biopsy)**を導入しました。

センチネルリンパ節とは、がんがリンパ節へ転移する際に**最初に到達すると考えられるリンパ節**のことです。このリンパ節を手術中に同定し、摘出して詳しく調べることで、リンパ節転移の有無を評価することができます。

従来は、転移の有無を確認するために骨盤内のリンパ節を広く切除する手術(リンパ節郭清)が行われることがありました。しかし、センチネルリンパ節生検を行うことで、**必要な場合にのみリンパ節郭清を行うことが可能となり、患者さんの身体への負担を軽減できる可能性があります。**

当科では、トレーサー(検出用の薬剤)を用いてセンチネルリンパ節を正確に同定し、病理診断と組み合わせることで、安全性に配慮した診療を行っています。

この方法は、**子宮頸がん、子宮体がん**などの婦人科悪性腫瘍において有用とされており、当科でも適切な症例に対して実施しています。

今後も東京医療センター産婦人科では、患者さんの負担を軽減しながら、より安全で質の高いがん治療を提供できるよう努めてまいります。

